

連携

第50号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



新年度のご挨拶

「栗原中央病院は地域医療に専心します」

院長 小林 光樹

こんにちは、栗原中央病院です。

大分暖かくなって、春本番になり、渡り鳥が去って、桜前線が代わりにやってきました。平成26年度に入り、皆さま新たな環境や仕事に取り組んでいることと思います。私たちも努力と研鑽を続けていきますので、今年度もどうぞ栗原中央病院をよろしく願いいたします。新医学部建設構想が報道されて、栗原の医療にも注目が集まっている状況ですが、栗原中央病院の姿勢は変わらずに、これからも栗原市民の健康といのちを守ることを基本において診療に当たります。

さて、栗原中央病院の建物には南に面した表玄関のほかに、いくつかの出入口があります。それらには、それぞれの役割があって、用途に応じた人たちが出入りをしています。そして同様に、私たちの病院組織にもほかの組織と同じ

ように、情報のやりとりのためにいくつかの出入口を用意しています。その中の代表が地域医療連携室です。診療情報のやりとりはもちろんなのですが、病院の中身の情報発信や地域の医療や福祉の関係者の方々との情報交換の場など、病院の機能の本幹となる部分の情報の出入口であると思っていますし、そのように機能するように日々頭を悩ませています。

「よらいん」をはじめとして、さまざまな機会や場をこれからも設定していきたいと思えます。決して多いとはいええないスタッフで運営していますので、その点をご理解いただき、栗原中央病院の地域医療連携室を上手に活用していただければ、お互いにもっと仕事がやりやすくなることも多いだろうと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

新規職員紹介

いしだ けんじ
石田 健司 副院長

(出身地 高知県)

高知医科大学昭和62年卒。
整形外科に入局し、リハビリテーション医学を専攻してきました。



これまで大学で主にしてきたことで、当院でお役に立てそうな事は、電気生理学的評価とロコモとメタボのリハ指導。あと前任地は大学病院でありながら早産児の運動発達指導、装具療法、痙縮治療（ボトックスやバクロフェンの髄中療法）を行っていました。役に立たないことは、介護予防機器の開発です。とてもマニアックな医師ですが、お声をお掛け頂ければ幸いです。

当院をリハの研修施設に認定してもらいますので、リハ医学の専門医・臨床認定医に興味ある方お声を掛けて下さい。

平成26年4月1日付けで採用となりました先生方です。

よしの ゆうき
吉野 祐貴 内科医員

(出身地 宮城県)

4月より内科医として赴任しました。地域の方々が健康に暮らせるよう微力ながらお手伝いできればと思います。よろしくお願いします。



臨床研修医

M.N

初期臨床研修医2年目

東北大学病院の研修医2年目の先生で、当院において3か月間研修を行います。



S.N

初期臨床研修医1年目

平成26年度採用の当院の臨床研修医の先生です。これから2年間の研修を頑張ります。



平成26年3月31日付け退職者（医師）

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
外科医員	高橋 宏和	退職	内科医員	千葉 貴彦	退職



「がん市民公開講座」開催しました

平成26年3月16日（日）エポカ21（栗原市志波姫）にて、がん市民公開講座を開催しました。岩手県立磐井病院緩和医療科長の平野拓司先生を講師にお招きし、「緩和ケアって何？」と題して、がんの治療や緩和ケアの関わり、磐井病院の緩和ケアについてご講演していただきました。市民や医療福祉関係者など、170名を超える参加者が、先生のお話に耳を傾けていました。

今日、2人に1人ががんと診断される時代となり、がんの治療とともに緩和ケアが注目されています。“緩和ケア”と聞くと、がんの末期に行うことというイメージを持たれることがあります。平野先生は、分かり易い言葉で、緩和ケアは、痛みの治療だけではなく、その人の心の痛みや社会的な痛みにも着目し、がんと診断された時から始まることをお話していただきました。

参加者からは、「麻薬や緩和ケアに対するイメージが変わった」、がんと向き合っている方からは「これからの人生を自分のため、家族のために生きたい」「見守る家族として、どのようにあるべきか参考になった」などの感想が寄せられました。

今後は、当院の緩和ケアチームが中心となり、がんを抱えながら自分らしく自分の人生を生きる皆様のお力になりたいと思っております。



《学会・研修会・論文発表》

★東北膵胆道疾患検討会 2014.1.31 一仙台市一

『総胆管結石 再発予防の試み』

・・・佐藤晃彦

★第196回日本消化器病学会東北支部例会 2014.2.8 一仙台市一

『門脈血栓症を続発した重症急性胆管炎の1例』

・・・○村山千尋, 佐藤晃彦, 小西秀知, 荒井 壮, 木田真美, 布施 香, 佐藤修一, 小林光樹
小泉 勝

★第201回日本内科学会東北地方会第62回生涯教育講演会 2014.2.15 一仙台市一

『誤嚥症状で発症した高齢認知症女性の歯科異物誤飲の1例』

・・・○加納伸介, 小西秀知, 木田真美, 吉越仁美, 荒井 壮, 鈴木慎二, 佐藤晃彦, 佐藤修
小林光樹, 小泉 勝

『びまん性汎細気管支炎が先行した成人T細胞性白血病の1例』

・・・○川口陽史, 千葉貴彦, 赤井健次郎, 千田光一, 小林光樹, 中山昇一

★日本磁気共鳴医学会雑誌 Vol.34 No.1 2014 P.6- 2014.2.15 発行 一般社団法人
日本磁気共鳴医学会

第41回日本磁気共鳴医学会大会ワークショップ『震災時の地域医療を支えるMR検査の安全確保』

・・・引地健生¹, 中井敏晴², 土橋俊男³, 木戸義照⁴, 磯田治夫⁵, 村田和子⁶

¹栗原市立栗原中央病院放射線科 ²国立長寿医療研究センター神経情報画像開発研究室 ³日本医科大学付属病院放射線科 ⁴和歌山労災病院放射線科 ⁵名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻 ⁶高知医療センター放射線科

★映像情報 APRIL2014 Vol.46 No.4 P.350-355 2014.4.1 発行

産業開発機構株式会社 @MED

特別寄稿『東日本大震災により被災したMR検査室を訪ねて一被災地から伝えたいこと』

・・・町田好男¹, 前谷津文雄², 引地健生³, 阿部喜弘⁴, 菱沼 誠⁵, 安達廣司郎⁶, 武蔵安徳⁷, 清野真也⁸, 丹治 一⁹, 石森文朗¹⁰, 砂森秀昭¹¹, 中井敏晴¹²

¹東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻画像情報学分野 ²公益財団法人宮城厚生協会 泉病院 放射線室

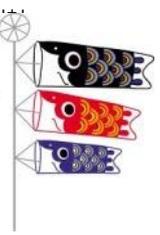
³栗原市立栗原中央病院 放射線科 ⁴国立病院機構盛岡病院 放射線科 ⁵一般財団法人厚生会仙台厚生病院 放射線部

⁶日本赤十字社盛岡赤十字病院 医療技術部 ⁷岩手県立中央病院中央放射線部 ⁸福島県立医科大学 放射線部

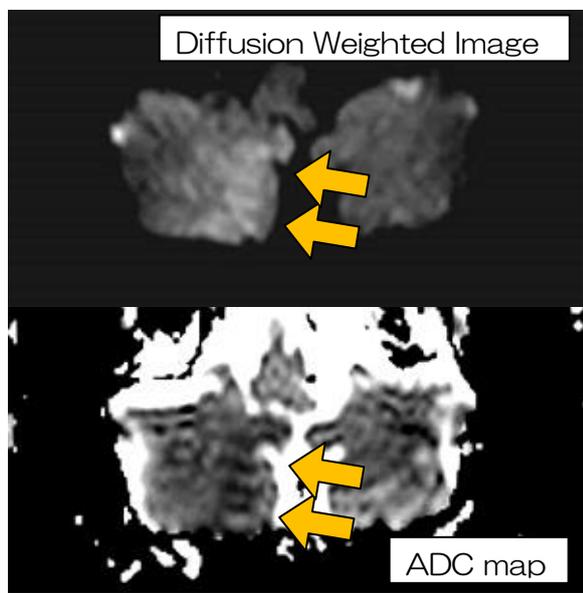
⁹公益財団法人仁泉会北福島医療センター 放射線技術科 ¹⁰医療法人聖麗会 聖麗メモリアル病院 放射線科

¹¹社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院 放射線科

¹²独立行政法人国立長寿医療研究センター 神経情報画像開発研究室



見える！診える！！栗中のMRI - その3 -



超急性期小脳梗塞

CTでは同定できないが、MRIの拡散強調画像にて描出できた超急性期小脳梗塞の症例です。



～お知らせ～



ほっとくりはら

平成26年度のがんサロン「ほっとくりはら」の開催日をお知らせ致します。

開催日：毎月第2火曜日

場所：栗原市立栗原中央病院

時間：13:30～15:00

対象者：がん療養中の患者様・ご家族様
がん体験者

お茶代：100円



※申し込みは不要です

ご都合のつく日で構いません。
お気軽にご参加ください。



医療と福祉に関する 出前講座

栗原中央病院では、地域の方々との交流、健康づくりのお手伝いの一助として、当院職員による「医療と福祉に関する出前講座」を開講しております。皆さまが知りたい、聴きたい体験したい講座について、講師職員が皆さまのもとに伺います。

ぜひお申込み・ご参加ください。



診療状況報告

◎内視鏡検査等状況

(単位：人)

	上部消化管				下部消化管			ERCP 関連	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクトミー 他			
1月	134	10	5	7	54	20	11	241	
2月	121	18	2	4	50	31	12	238	
3月	120	6	3	4	53	20	21	227	
年度計	1,934	136	49	65	969	239	219	3,611	

◎手術実施状況

(単位：人)

区分	全身麻酔				腰椎麻酔				局所麻酔						合計
	外	皮	整	計	外	皮	整	計	外	眼	皮	内	整	計	
1月	20	0	18	38	1	0	9	10	3	22	2	0	5	32	80
2月	20	0	15	35	1	0	6	7	1	21	2	1	2	27	69
3月	23	3	13	39	0	0	6	6	2	24	1	0	3	30	75
年度計	282	8	141	431	9	0	87	96	29	243	25	2	36	335	862

◎救急医療状況()内及び時間内患者数は救急車搬入数

(単位：人)

区分	外 来		入 院		時間外計	時間内 計	救急車 搬入計
	時間外	時間内	時間外	時間内			
1月	274 (61)	16	73 (45)	36	347 (106)	52	158
2月	202 (54)	13	56 (31)	26	258 (85)	39	124
3月	232 (51)	18	64 (41)	32	296 (92)	50	142
年度計	2,890 (696)	173	783 (443)	316	3,673 (1139)	489	1,628

編集後記



新年度が始まり、新しいスタッフも加わって心機一転！市民の皆様にとって、より良い医療を提供できるように、連携を図りながら頑張っていますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。